

プラウドシティ茨木

No. 20-017-2011作成
新築
集合住宅

発注者	野村不動産株式会社他	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	株式会社長谷工コーポレーション 大阪エンジニアリング事業部一級建築士事務所	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
施工	株式会社長谷工コーポレーション	I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

街区創造型のまちづくりの提案

設計コンセプト・・・四季をまとう緑彩の街

本プロジェクトは、1960年から1962年に開発された地上4階建・16棟の茨木団地の建替計画に伴う再生事業「茨木B・C団地建替計画及び再生地活用計画等事業提案コンペ」当選作品である。敷地は、この団地建替計画に伴い開発された四周の道路に囲まれ、西側にある佐奈部神社、北側の2つの提供公園をとりこみ、四季折々に多彩な表情をみせる緑彩の街を創るということをコンセプトとした。

建築計画としては、一団地認定を取ることで、住棟の分節化を図り、又、自走式駐車場による100%の設置率の確保を実現し、居住者の住環境及び利便性の向上を心がけた。

特に敷地内外の緑化を重視し、提供公園、インナーガーデン、建物周囲の木もれ日の緑道などに、7,000本超の多彩な樹木を配し、場所ごとに趣きの異なるガーデン計画を行い、地域の方々にも、四季折々の風情を身近に愉しめるように配慮した。



外観写真

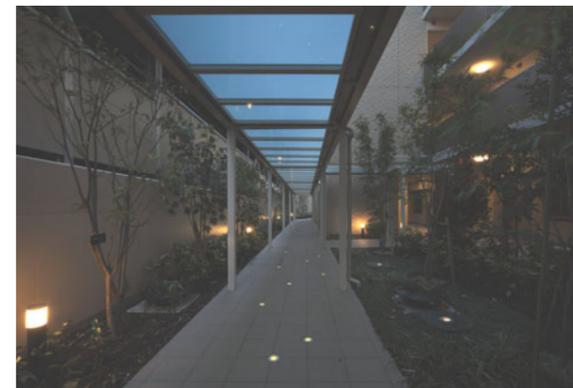


出逢いの森

エントランスから各住棟へは、回廊により結ばれ、その動線に沿って3つのインナーガーデンを設けた。『いろいろの庭』『きらめきの小径』『うるおいの回廊』と名付けたそれぞれ特徴のある中庭空間を計画し、各住棟への変化のあるアプローチを実現した。



いろいろの庭



きらめきの小径



いろいろの庭

きらめきの小径

うるおいの回廊

建物データ	所在地 大阪府茨木市	省エネルギー性能	品確法省エネ対策 等級3	CASBEE評価	B+ランク BEE=1.2 2008年度版 自己評価
竣工年	2011年				
敷地面積	10,619㎡				
延床面積	28,431㎡				
構造	RC造				
階数	地上12階				

その他の環境対策

生活の中で出来る様々な環境配慮対策を採用し、快適な生活を送りながら環境にやさしい住まいを目指した。

□ 対策項目

1. 透水舗装の採用
2. 省エネ給湯システム『エコジョーズ』の採用
3. エネルックリモコンの採用
4. ディスポーザーの採用
5. 複層ガラス（ペアガラス）の採用
6. 保温バスの採用
7. 省エネ対策等級3の断熱設計
8. 電気自動車用・充電コンセントの設置

新エネルックリモコン

ガスの電気・水道使用料をリモコンで表示。日別・月別の目標設定やグラフ化ができ、省エネ実感を高めます。



参考写真

ディスポーザー

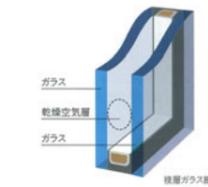
生ゴミをキッチンの排水口で処理するディスポーザーを設置。ゴミの減量はもとより、キッチンを衛生的に保ちます。



参考イラスト

複層ガラス(ペアガラス) (一部除く)

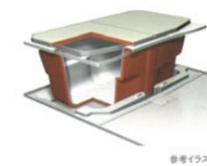
断熱性を高めることで、冷暖房効率を上げ、ムダなエネルギー消費量を抑えます。



複層ガラス断面図

保温バス

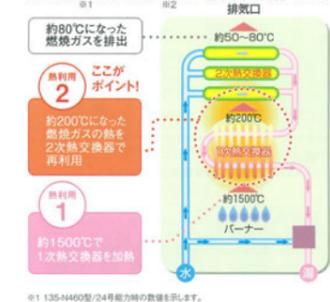
浴槽を発泡ポリスチレン断熱材でくるんで、湯温を冷めにくくする保温バスを導入。追い焚きの頻度が減りガスの使用料を軽減します。



参考イラスト

エコジョーズ 高効率のひみつ

これまで利用されていなかった排熱を再利用！給湯効率95%、暖房効率89%という高効率を実現しました。



※1 135-N460型(24年能力時)のデータを示します。
※2 135-N460型(設置温度大気時)のデータを示します。

地球温暖化防止に貢献!

年間約**13%**のCO2排出量を削減!

年間のエコジョーズ1台あたりのCO2削減量はユカリの木26本が吸収するCO2量に相当します。

※当社従来同等製品と135-N460型との比較
(給湯・暖房用、エコジョーズ採用、標準仕様を前提として、従来の給湯効率86%/年、プレミアムエコジョーズ70%/年をお使いのモデルでの試算。CO2排出係数: 2.29kg-CO2/(H) (当社データ) ユカリの木1本あたりのCO2吸収量: 年間0.25kg-CO2/本 (環境省計画/電気事業連合会資料より)



エコジョーズ

主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q3. 1. 生物環境の保全と創出 (緑地率10%以上確保)
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮 (豊かな緑地を配し潤いある空間を形成)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (住宅の自然換気)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (エコジョーズ採用)
- LR2. 2. 地域環境への配慮 (騒音・震動・悪臭の防止 (ディスポーザー採用))